

【子育て談話室】テーマ：「袖をもちなさい（大村はま先生の言葉から）」

国語教育の師と言われた大村はま先生(2005年ご逝去)が、幼い頃に母親から言われた言葉です。非常にしつけに厳しい母親でしたので、3人兄弟は寝るときに着ていた浴衣をきちんとたたむ習慣が身に付いていたそうです。しかし、丈の長い浴衣をきちんとたたむことは幼かったはまさんにとっては至難の業。そんなとき、はまさんの母親は、「きちんとたたみなさい。」とは言わずに、「袖を持ちなさい。」と教えてくれたそうです。袖を持ってピンと張ると、長四角になってきちんとたたむことができましたそうです。「きちんとたたみなさい」は小言に聞こえるけれど、「袖を持ちなさい」は、優しい手ほどきだと感じたのでしょう。その後、大村はま先生は、教師として「袖を持ちなさい」のような言い方を心がけたと言います。「さっさと勉強しなさい」は、子どもにとっては小言に聞こえるのかもしれませんが、子どもに勉強を頑張ってもらいたいときにかける言葉は何が良いか？一緒に悩みましょう。



## ◇学習の充実を目指して

中学校を卒業すると、小学校から続いた9年間の「義務教育」が修了となります。3年生にとって来年の3月には卒業後の進路を選択し、多くの生徒たちが高等学校や専門学校等それぞれの道に歩み出して行きます。なぜ、学ぶのか。勿論、テストや受験のために授業を聞いて勉強しているわけではありませんが、学習内容をしっかりと身に付けておくことは、急速に変化していく将来を生きぬくためにはとても大切なことです。1年生の学年集会で学習指導担当から「学習の仕方」について話がありました。その話を聞く態度は真剣そのもので、その後の学習課題への取組に変容が見られるようになりました。また、過日は数学の授業において、校長が授業のサポートに入り、個に応じた指導の模擬授業を展開しました。さらに、9月中旬より「学習支援員」が配属され、数学や英語、国語の授業における個別の支援を展開しております。10月5日(月)・6日(火)の中間テストに向けて、計画的に復習するよう指導していますので、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。



## ◇保護者のご協力に感謝

休日の部活動時、野球部の保護者の方々が防球ネットの補修をしてくださいました。野球の打撃練習の際に使用する防球ネットの一部が破れていたのを、手作業で修復していただきました。生徒の安全がしっかりと確保でき、より一層練習に打ち込むことができます。そして、「誰かが自分たちのためにしてくれたこと」をしっかりと目に焼きつけ、感謝の心が育っていくことでしょう。お忙しい中ご協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## ◇体育館に大型スクリーン

今まであったスクリーンはサイズが小さく、ステージの最も奥に設置してあったため、遠くからは画面が見にくく、後方の壁に映像を映し出している状況でした。そこで、縦が約5m、横約3mの大型スクリーンを新たに購入し、使用しています。25日に行われた3年生の租税教室では、大きく見やすい映像を交えての講話を聞くことができ、大変役立っています。



## ◇10/23(金)「ひがし野祭」

今年度は感染症の拡大防止のため、ご来賓および保護者への公開をせずに、平日の開催といたします。生徒たちは校内合唱コンクールに向けて、学級ごとにパート練習や全体練習に励んでいます。当日は、マウスシールドを着用し、学年別に体育館で発表を行います。保護者の皆様にはホームページ等を通じてその様子を視聴できるよう進めているところです。また、例年ご協力いただいているバザーも開催はしませんので、ご了承ください。



〈パート練習の様子〉

※校庭放射線量 0.068 マイクロシーベルト(校庭5箇所の平均値) 9/18測定



左記は、本校ホームページのQRコードです。行事の予定や日頃の生徒たちの様子を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

また、お子様のことでご心配やご相談等がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。基本的に教頭(大平)が対応させていただきます。

